
館林市
子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書(速報値概要)
【就学前児童】

平成 26 年2月

館林市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 回収状況.....	1
4. 報告書の見方	1
II 調査の結果	2
1. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	2
2. お子さんの保護者の就労状況について	5
3. お子さんの平日の定期的な幼稚園や保育園の利用状況について	6
4. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	10
5. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園や保育園などの利用希望 について.....	11
6. お子さんの病気の際の対応について.....	13
7. お子さんが不定期に利用する事業について.....	14
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	15
9. 育児休業や短期間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	16
10. 館林市の子育て環境や子育てについて.....	17

I 調査の概要

1. 調査の目的

本市では、次代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支える地域社会の形成をめざし、「館林市次世代育成支援行動計画（後期計画）」に基づき、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めています。

このたび、この計画の期間満了に伴い、新しい子ども・子育て支援制度に基づく「館林市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなり、市民の皆様の子ども・子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、ニーズ調査を実施しました。

2. 調査の方法

	1. 就学前児童調査
(1)調査対象者	小学校就学前の児童を無作為抽出
(2)調査対象者数	2,000 件
(3)調査方法	郵送及び保育園、幼稚園からの配布・回収
(4)調査実施期間	平成 26 年 1 月 7 日（火）～1 月 20 日（月）

3. 回収状況

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 就学前児童調査	2,000 件	1,657 件	82.9%

（2月15日現在）

4. 報告書の見方

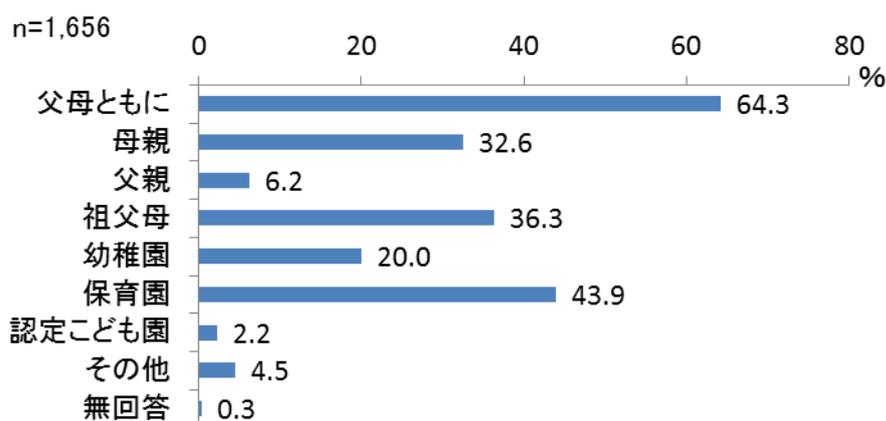
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部省略している場合があります。

Ⅱ 調査の結果

1. 子どもの育ちをめぐる環境について

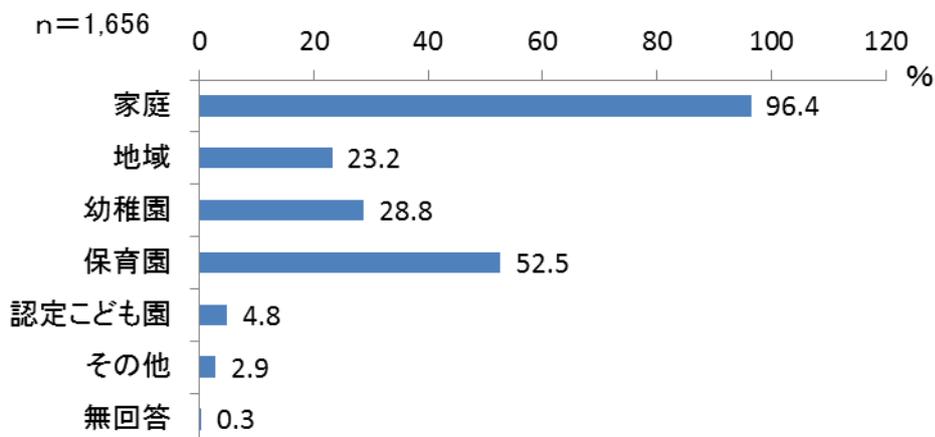
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに日常的に関わっている方は、「父母ともに」が64.3%と最も多く、次いで、「保育園」が43.9%、「祖父母」が36.3%などとなっています。



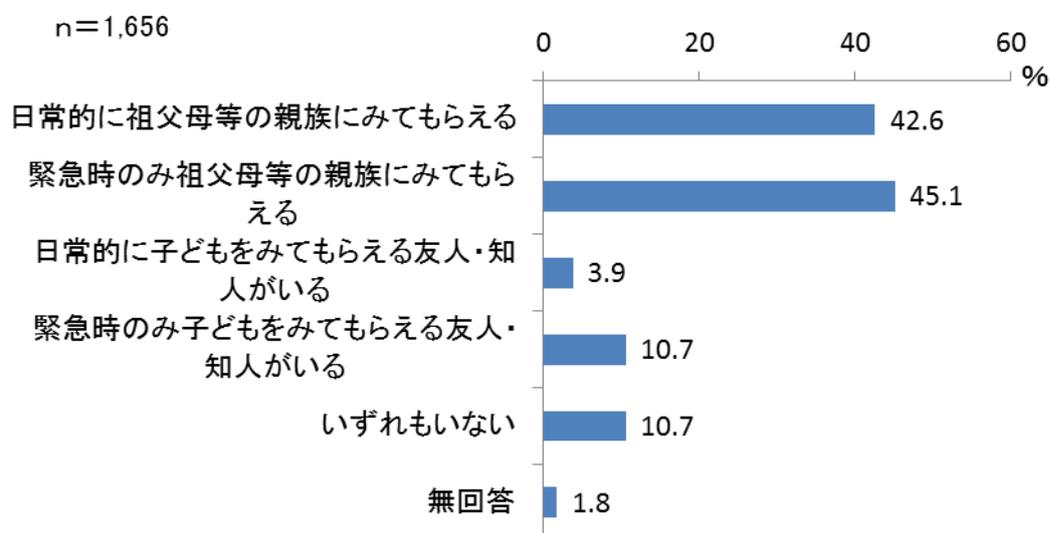
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

子育てに、もっとも影響すると思われる環境は、「家庭」が96.4%と最も多く、次いで、「保育園」が52.5%、「幼稚園」が28.8%などとなっています。



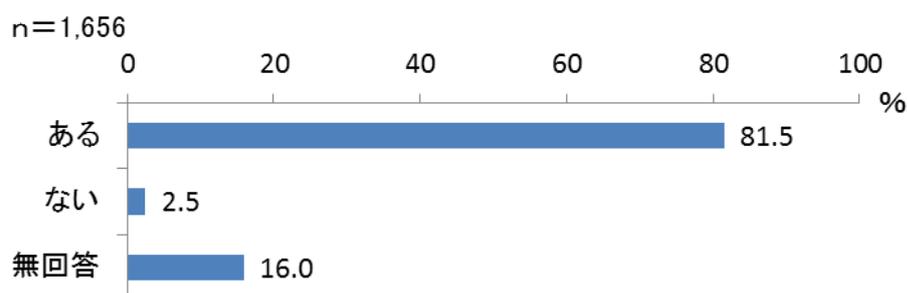
問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時のみ祖父母等の親族にみてもらえる」が45.1%と最も多く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が42.6%などとなっています。



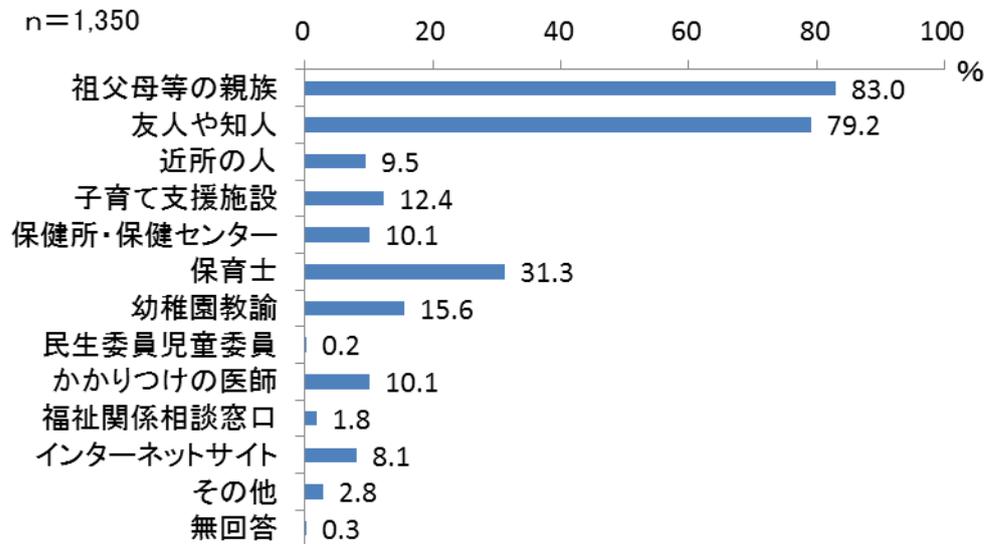
問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人または相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てをする上での相談相手（場所）の有無は、「ある」が81.5%、「ない」が2.5%となっています。



問 10-1 「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをする上での相談する先は、「祖父母等の親族」が83.0%と最も多く、次いで、「友人や知人」が79.2%、「保育士」が31.3%などとなっています。



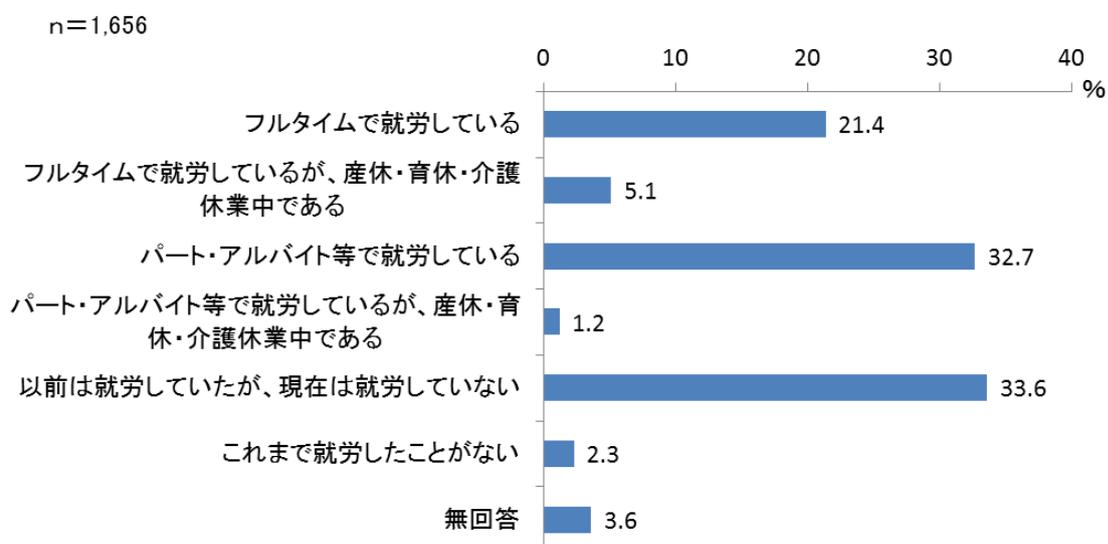
2. お子さんの保護者の就労状況について

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

また、「5.」を回答した方は、離職の理由について、当てはまる記号1つに○をつけてください。

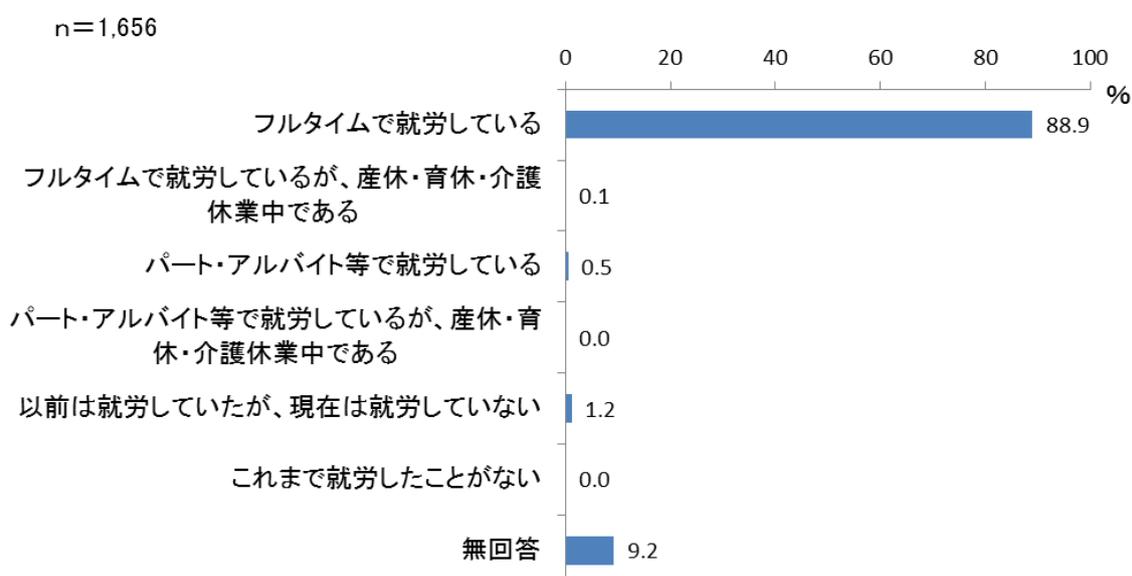
（1）母親

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が33.6%と最も多く、次いで、「パート・アルバイト等で就労している」が32.7%「フルタイムで就労している」が21.4%などとなっています。



（2）父親

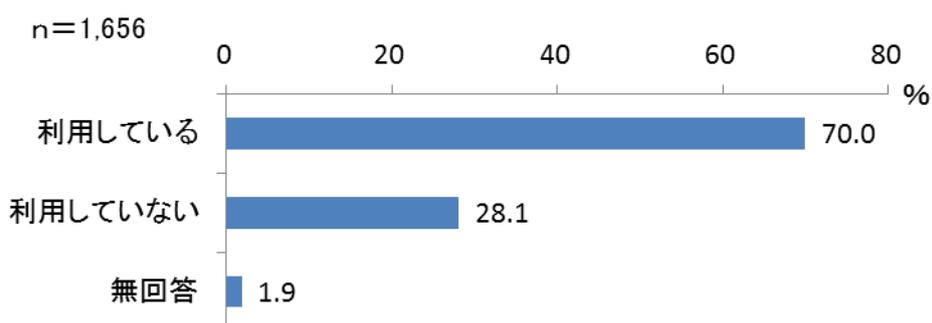
父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」が88.9%と最も多く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.2%などとなっています。



3. お子さんの平日の定期的な幼稚園や保育園の利用状況について

問 14 宛名のお子さんは現在、定期的に幼稚園や保育園などを利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

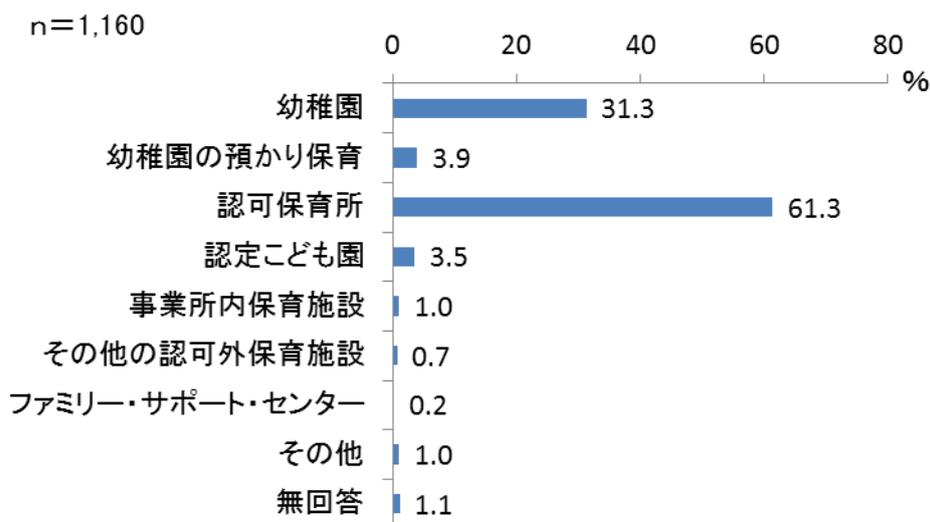
幼稚園や保育園の利用状況については、「利用している」が 70.0%、「利用していない」は 28.1%となっています。



【問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方】

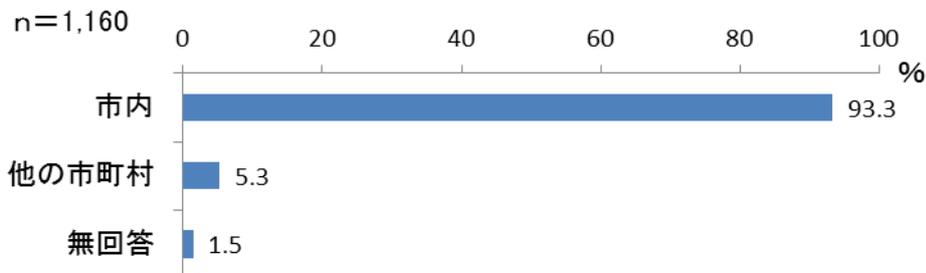
問 14-1 宛名のお子さんは、平日どのような事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用している保育事業は、「認可保育所」が 61.3%と最も多く、次いで、「幼稚園」が 31.3%、「幼稚園の預かり保育」が 3.9%などとなっています。



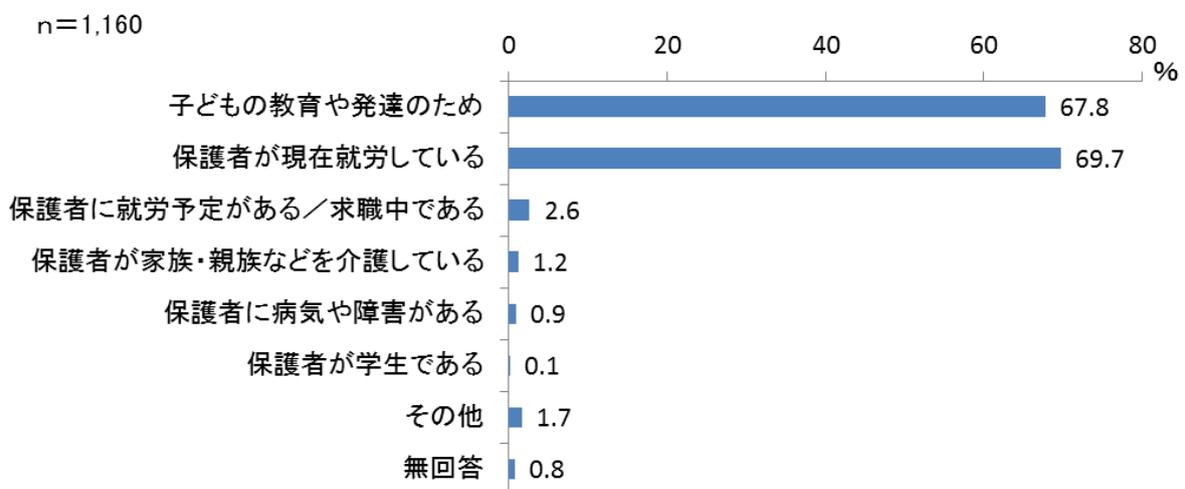
問 14-3 現在、利用している幼稚園や保育園などの実施場所について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

利用している幼稚園や保育園の実施場所は、「市内」が 93.3%となっています。



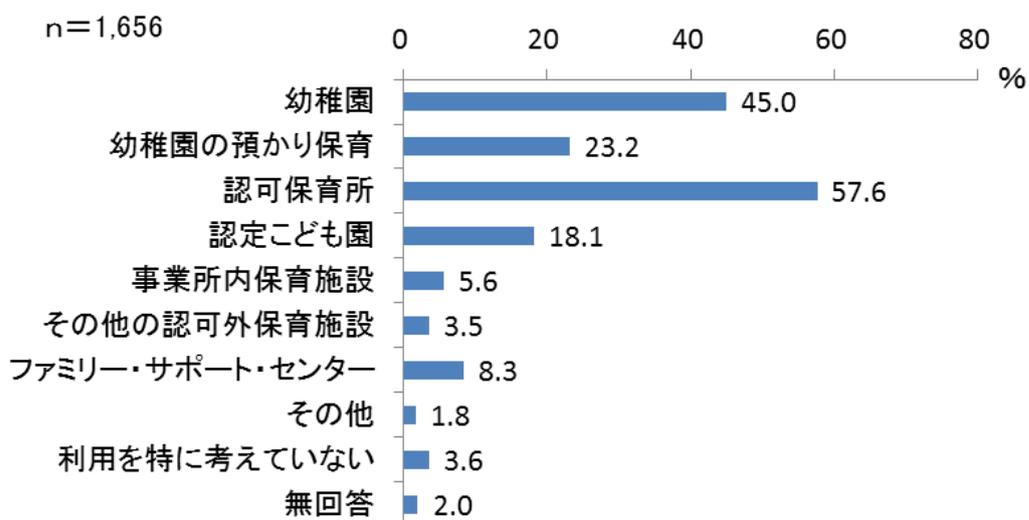
問 14-4 問 14-1 のような事業（保育事業）を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

保育事業を利用している理由は、「保護者が現在就労している」が 69.7%と最も多く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が 67.8%などとなっています。



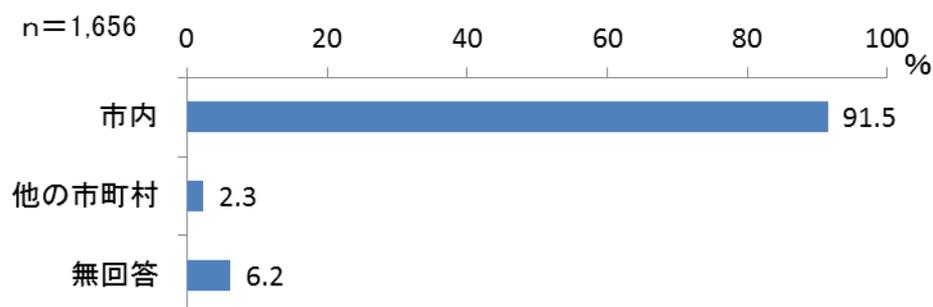
問 15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、幼稚園や保育園など、平日「定期的に」利用したいと考える事業の番号すべてに○をつけてください。なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。

「定期的に」利用したい平日の保育事業は、「認可保育所」が57.6%と最も多く、次いで、「幼稚園」が45.0%、「幼稚園の預かり保育」が23.2%などとなっています。



問 15-1 問 15 のような事業（保育事業）を利用したい場所について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

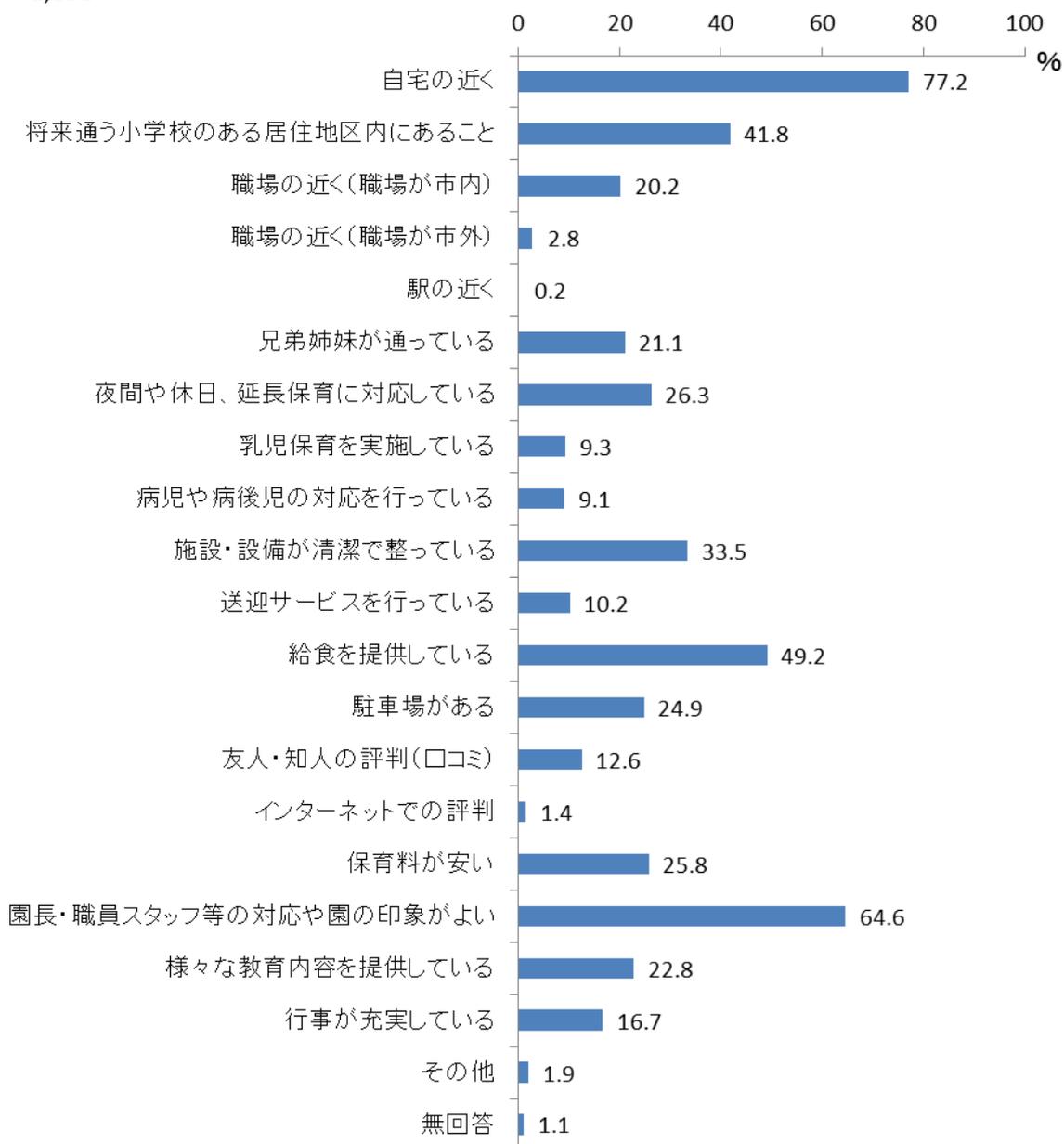
利用したい保育事業の実施場所は、「市内」が91.5%となっています。



問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。当てはまる番号（5つまで）に○をつけてください。

平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点は、「自宅の近く」が77.2%と最も多く、次いで、「園長・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい」が64.6%、「給食を提供している」が49.2%などとなっています。

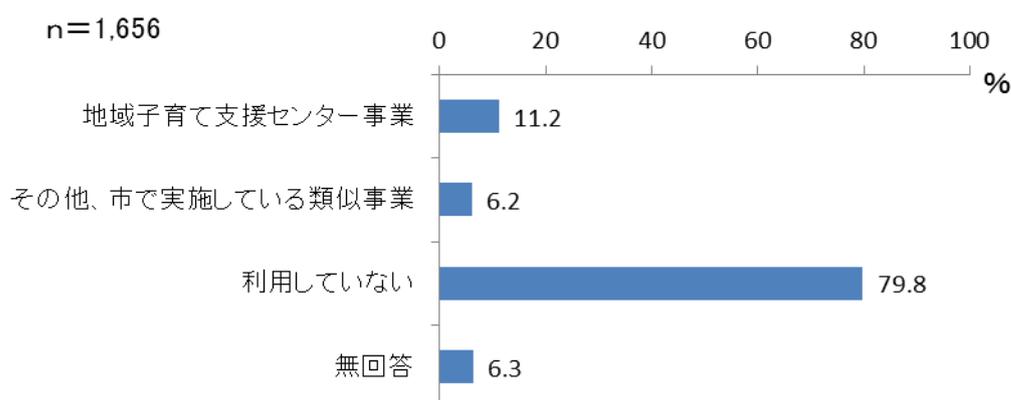
n=1,656



4. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

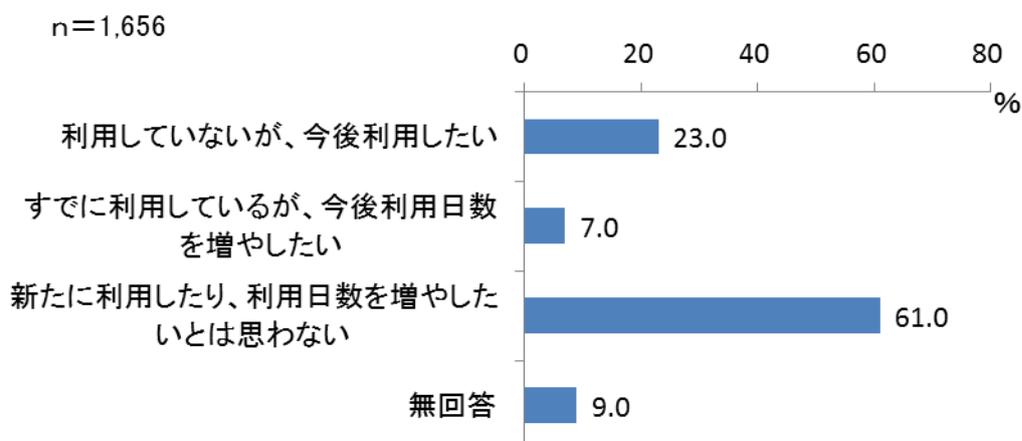
問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）事業などを利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。利用していない場合は、その理由をお書きください。

地域子育て支援事業の利用状況は、「地域子育て支援センター事業」が11.2%、「その他、市で実施している類似事業」が6.2%、「利用していない」が79.8%となっています。



問 18 問 17のような地域子育て支援センター事業などについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が61.0%と最も高く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が23.0%などとなっています。



5. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園や保育園などの利用希望について

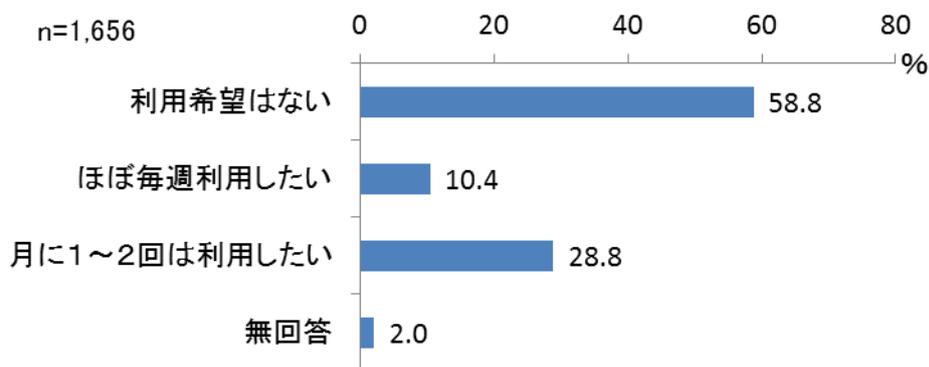
問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な幼稚園や保育園などの事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。(1) (2)について当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯の具体的な数字を口内に必ず（例）09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

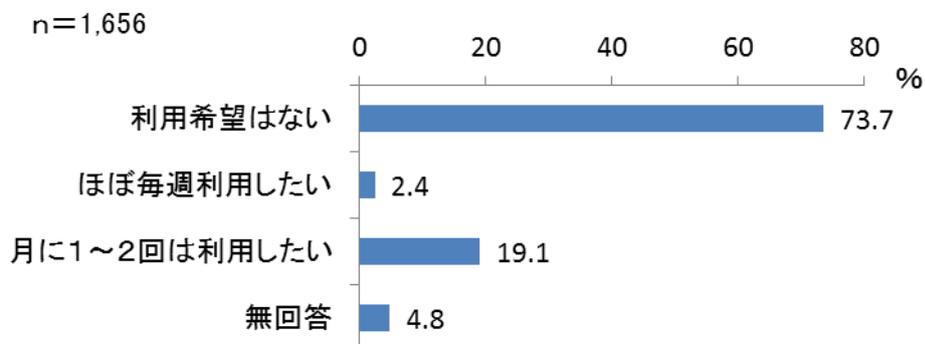
(1) 土曜日

土曜日の利用希望は、「利用希望はない」が58.8%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が28.8%などとなっています。



(2) 日曜日・祝日

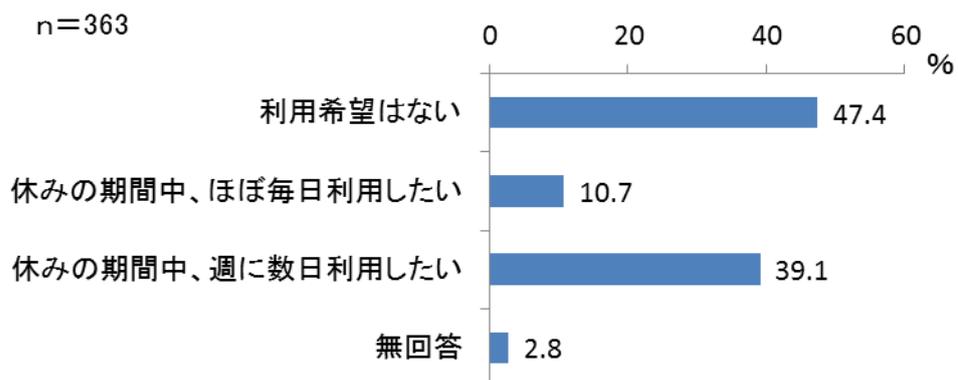
日曜日・祝日の利用希望は、「利用希望はない」が73.7%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が19.1%などとなっています。



【「幼稚園」を利用されている方】

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の利用を希望しますか。当
てはまる番号 1 つに○をつけてください。

長期休暇の利用希望は、「利用希望はない」が 47.4%で最も多く、次いで、「休みの期間中、
週に数日利用したい」が 39.1%などとなっています。

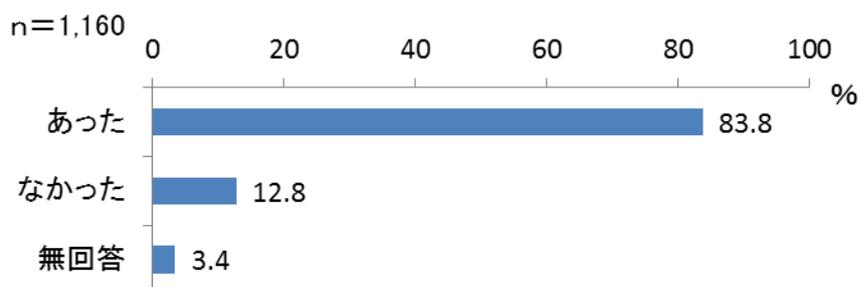


6. お子さんの病気の際の対応について

【問 14 で平日の定期的な幼稚園や保育園などの事業を「1. 利用している」と回答した方】

問 22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園や保育園などの事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

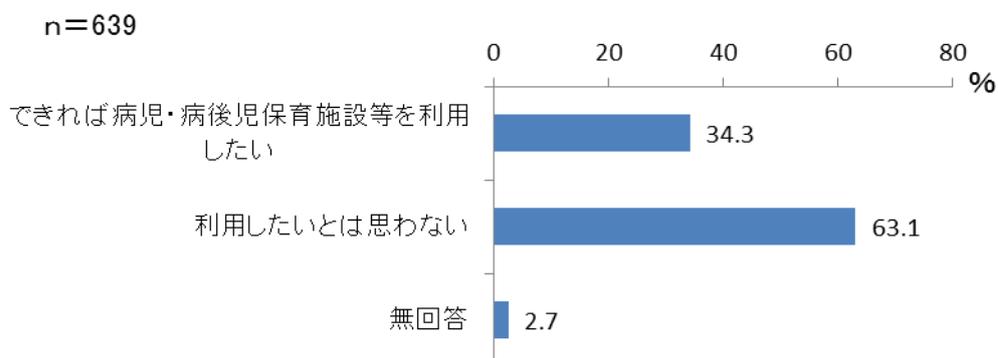
病気やけがで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が83.8%、「なかった」が12.8%などとなっています。



問 22-2 問 22-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園や保育園などの事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

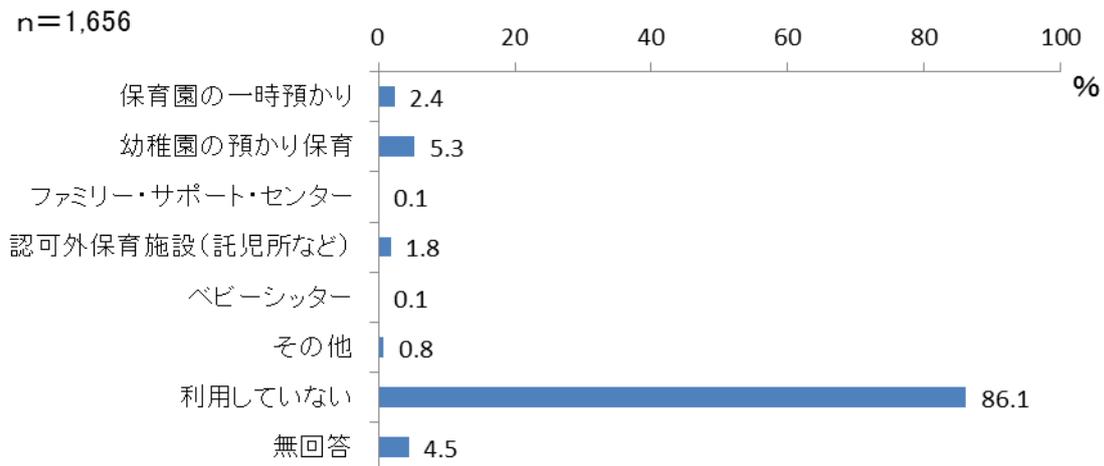
利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が34.3%、「利用したいとは思わない」が63.1%となっています。



7. お子さんが不定期に利用する事業について

問 23 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

不定期の保育事業の利用は、「利用していない」が86.1%と最も多く、次いで、「幼稚園の預かり保育」が5.3%、「保育園の一時預かり」が2.4%などとなっています。



8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

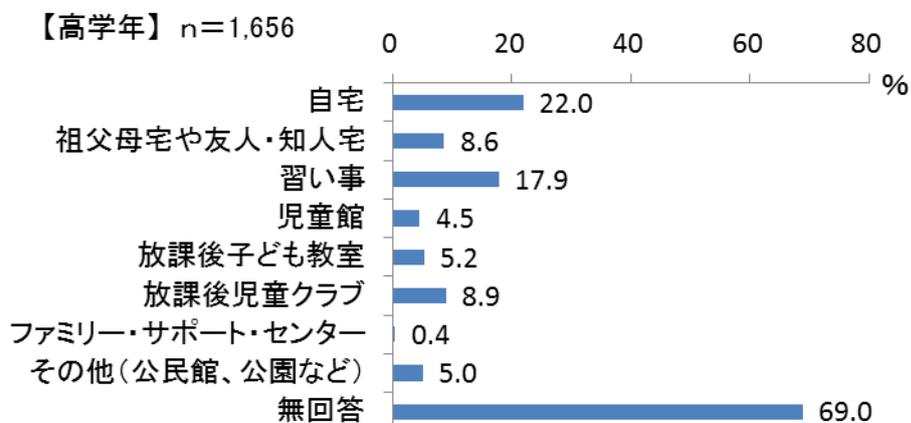
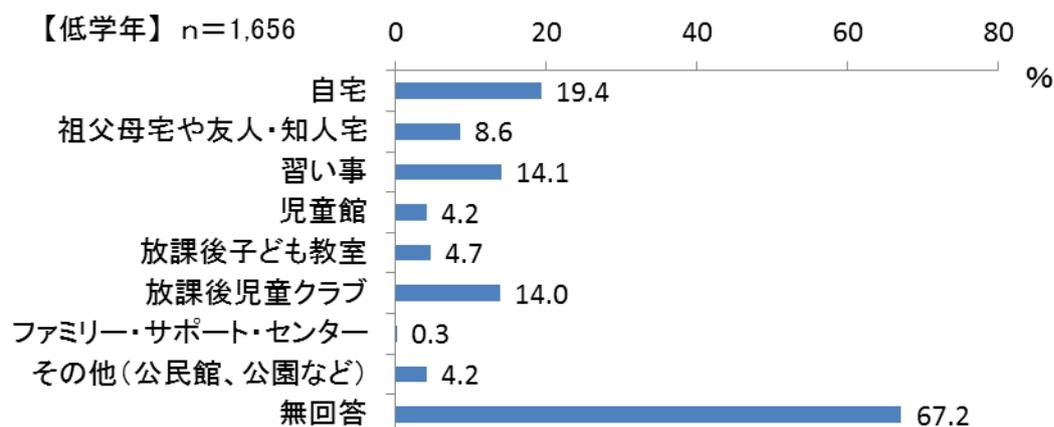
【お子さんが5歳以上である方】

問 27 宛名のお子さんについて、小学校就学後は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年及び高学年、それぞれについて当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。

なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時30分のように24時間制でご記入ください。

低学年の放課後の過ごさせたい場所は、「自宅」が19.4%と最も多く、次いで「習い事」が14.1%、「放課後児童クラブ」が14.0%などとなっています。

高学年の放課後の過ごさせたい場所は、「自宅」が22.0%と最も多く、次いで「習い事」が17.9%、「放課後児童クラブ」が8.9%などとなっています。



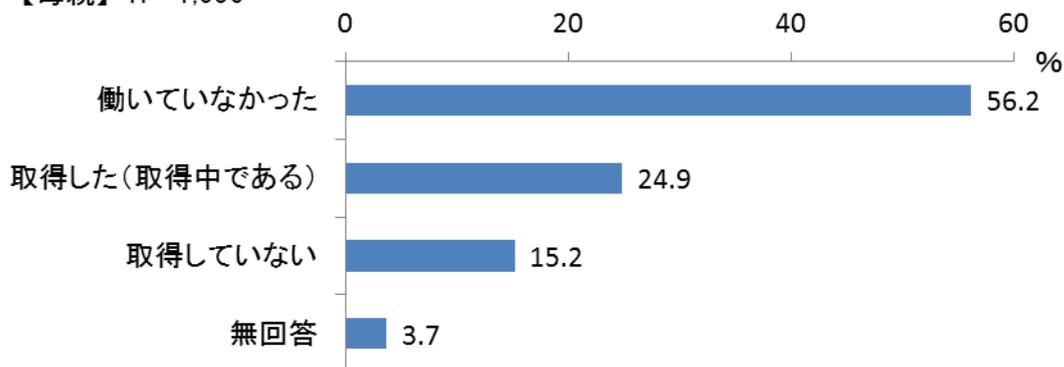
9. 育児休業や短期間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、「取得していない理由」から当てはまる番号をご記入ください。

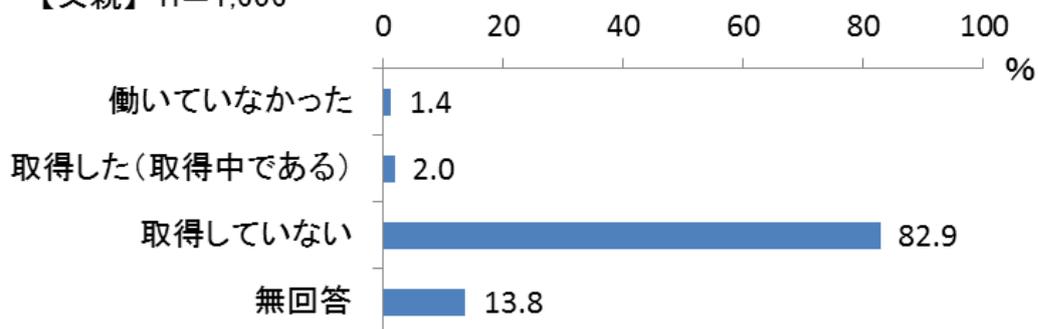
母親の育児休業制度の利用は、「働いていなかった」が56.2%と最も多く、次いで、「取得した（取得中である）」が24.9%、「取得していない」が15.2%となっています。

父親の育児休業制度の利用は、「取得していない」が82.9%と最も多く、次いで、「取得した（取得中である）」が2.0%などとなっています。

【母親】 n=1,656



【父親】 n=1,656



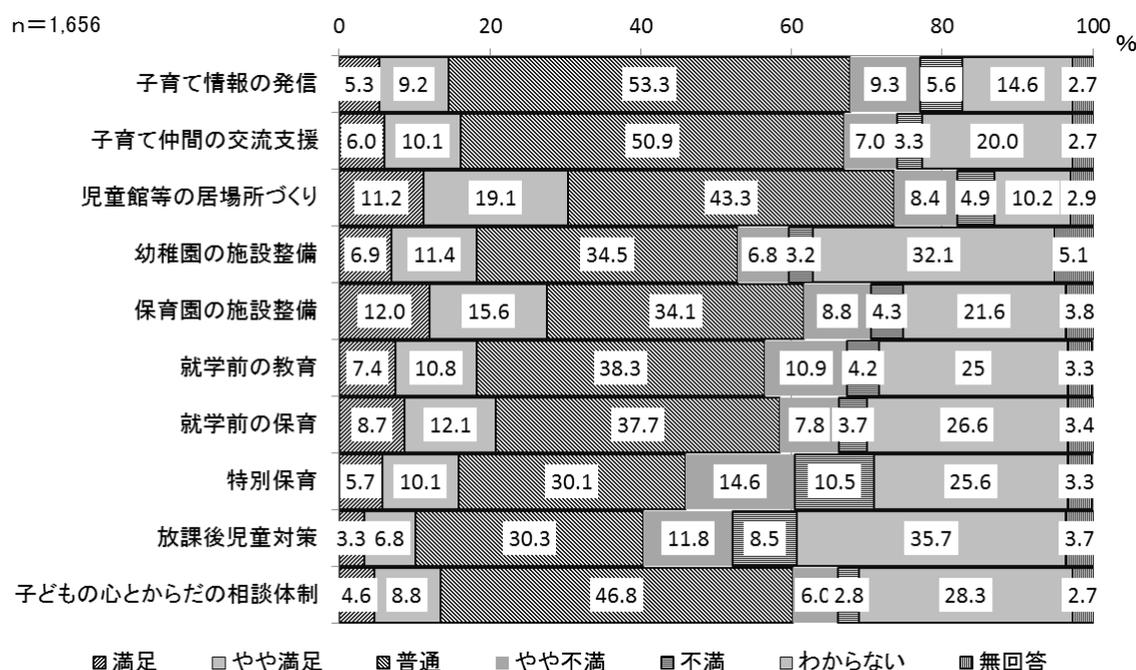
10. 館林市の子育て環境や子育てについて

問 29 館林市における子育て環境について、どのように思いますか。

それぞれの当てはまる番号に○をつけてください。

子育て環境の満足度（満足とやや満足の合計）では、「児童館等の居場所づくり」が30.3%と最も多く、次いで、「保育園の施設整備」が27.6%、「就学前の保育」が20.8%などとなっています。

子育て環境の不満足度（不満とやや不満の合計）では、「特別保育」が25.1%と最も多く、次いで、「放課後児童対策」が20.3%、「就学前の教育」が15.1%などとなっています。



問 30 あなたは、子育てが楽しいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てが楽しいかについては、「つらいこともあるが楽しいことの方が多い」が70.5%で、次いで、「とても楽しい」が23.8%などとなっています。

